

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/5/25

No. 40

賛同署名総数は	199,651
5/24まで	
*オンライン署名	6,328
*署名用紙署名	193,323

筆
筆
筆

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。
HPまたは事務局へお問い合わせ願います。



みやぎ生協・コープふくしま

東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。



【協力団体インタビュー】

「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟 原告団

服部 崇 事務局次長 にお話を伺いました

(福島県北農民連 事務局長
農事組合法人 産直センターふくしま 参事)

生業訴訟 生業訴訟原告団

福島県農民連
tukushimaken nouminren

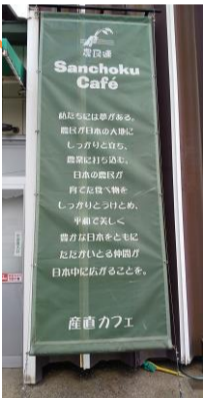


Q1、ALPS処理水海洋放出決定の発表を受け、どのように感じましたか

最初に聞いたときは耳を疑いました。汚染されているものを流していいのかという怒りが湧きました。漁業関係者など、海で働いている人たちがいるんです。自分の職場に「汚染されたものをまかれる」と考えたらどう思いますか。「海は誰のものなの？」という気持ちになりました。

Q2、4団体による「ALPS処理水海洋放出に反対する署名」開始を聞いた時の心境は

色々なところで「署名をやらなければいけない」という話が出ていたので「良かった！」と思いました。それぞれが取り組むよりも一点集中がいいと思い、合流しようと決めました。特に生協は安心安全という点で、実際の食事に含まれる放射性物質摂取量調査などの実績もあり、立ち上がったって力になりました。改めて、一本化して署名運動ができているのが良かったと思っています。



新鮮な農産物直売店 お立ち寄りください。
福島市大森字日ノ下4-1
☎024-546-8655 定休日 火曜

Q3、署名推進に向け工夫した点、苦労した点などは

苦労した点はないです。原発問題はライフワークのひとつで、処理水が加わっただけでした。体の半分が原発、半分が農民連といった感じです。処理水については一番の問題だと認識しており、何かあるときは必ず処理水問題、署名について話しをしています。「海といのちを守る福島ネットワーク」は月に1度タウンミーティングを開催しており、様々な団体が呼びかけ人になっていますが、署名のおかげで活動しやすくなったと感じています。

Q4、署名運動に対する世間の風向きはどのように感じますか

まだまだ足りないですね。風も吹いてないと感じています。県民に情報が伝わっておらず、世論としては無風だと思います。無風ということは「わからない」ということで、知らない人がいっぱいいるということは『風にする』チャンスということだと思っています。いまは一部の人が反対しているだけですが、止められる可能性はあると思います。柴崎先生の広域遮水壁案をみんなの共通認識とし、流さなくていい代替案があることを福島県内、全国の方に知ってもらいたいです。これぐらいのお金があれば流さなくてもいいんだという情報が周知されれば世論は動くと思います。「150億円、国が出さないなら自分たちで集める」それぐらいの気持ちです。

Q5、ひとりひとりが当事者意識を持つためにはどうしたらいいと思いますか

「11年前を思い出せ」と言いたいです。原発再稼働、小型原子炉を作ると言われても怒りもなくなっています。核問題が起こると必ず広島、長崎の方がインタビューされますが、福島県民が同じようにインタビューされたとき、福島の方は答えられるでしょうか。一人ひとり話すことはできないのではないかと思います。署名を通して関心のある人を増やし、関心を高め、広める必要があると思います。

Q6、東京電力と国を相手に戦いを続けてこられた経験から、今後の展開についてアドバイスなどありましたらお願いします。

署名をして歩く人がどれだけ増えるかが重要です。過去の活動者に再び「火」をつける必要があると思っています。「このままでは次世代に...」と言いながら、何もしなければ悪い状況を未来に押し付けるだけです。いい状況を引き継ぐために出来ることは何か考え、行動を起こさなければなりません。署名数はまだまだ伸びると思います。参議院選挙はいい機会になるとと思いますし、TVやYouTube配信を活用し、汚染水を止める方法があることを目に見える形にするのが大切です。

Q7、本取り組み呼びかけ団体、賛同団体へのメッセージをお願いします

長い戦いになると思います。海洋放出を止めて終わり、流して終わりではありません。廃炉になるまで続きます。廃炉の形がどうなるのかわかりませんが、廃炉まで様々な問題が浮上するはずです。胸に熱い『火』を灯しながら頑張りましょう！



◇長きにわたり裁判を進めてこられた服部さん。一言一言に説得力があり、深くうなづくお話を伺いました。「県民の代表」という言葉には強く心を揺さぶられ、目に見える形で行動することの大切さを痛感しました。服部様インタビューにご対応いただきありがとうございます。



◆生業訴訟とは

2013年3月に提訴。東電と国に対し、原発事故の責任を法的に問う裁判です。裁判を通しての要求は「原状復帰」「救済制度作成」「脱原発」5000人を超える原告は、県民の代表だと思っています。我々が求めるのは全体救済であり、県民等しくみんな救済すべきだと考えています。原告だけがお金をもらうわけではなく県民みんなが被害者です。避難された方、留まった方が一緒になって訴えており、福島、仙台高裁で勝訴し、現在は最高裁の判決待ちです(6月中旬に確定)

【学習会を考られている皆様へ】学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 宍戸)

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)



<編集後記>erikoのつぶやき
手作りほうきを作るべく、Gご夫妻の休耕田を有効活用させていただき、みんなでコキア(ほうき草)の苗植え作業。コキアといえば色鮮やかな赤色が印象的ですが、あの可愛いコキアから「ほうき」ができるとは驚きです。春に植えたコキアを秋に収穫・乾燥させれば、コキアの枝が箒の材料に様変わり。コキアは観賞以外にも、枝がほうき、種が食材(とんぶり)と、様々なことに利用されていたことから『恵まれた生活』という花言葉が付けられたそうです。
身近にある植物をムダなく活用。便利になるほど忘れてしまいがちな『豊かさ』を感じます。先人たちの知恵を継承し、子孫から借りている地球の資源を大切に使いしていきたいですね。みんなでわいわい、ノスタルジックな筆作りができる日が待ち遠しい♪